

母性と知性が育まれた、 愛知淑徳での学校生活。 その6年間で 私の出発点です。

株式会社三菱UFJ銀行
オセアニア法人営業部

杉 舞さん(旧姓:平井)

愛知淑徳高等学校を1995年3月に卒業。上智大学文学部を卒業後、2000年4月に株式会社東京三菱銀行(現・株式会社三菱UFJ銀行)に入行。2023年5月よりオセアニア法人営業部上席部長代理としてニュージーランドのオークランド支店に赴任。

何事にも積極的 に取り組み、 自分と向き合った 6年間。

愛知淑徳での6年間は、「自分らしさとは何か」を考える機会や、次の一步を踏み出す「勇気」「意志」を授けてくれた、私にとってかけがえない日々でした。中高を通じてフルート同好会に所属し、高1のときは華道部でも活動。さらに、学園祭をはじめとする学校行事にも積極的に参加し、みんなで力を合わせて目標に向かう経験を積み重ねました。チームワークを学ぶと共に、他者からの評価だけにとらわれず「自分が納得できるか、嬉しいか」という視点を持つ大切さにも気づくことができました。

当時、思い描いていた将来の夢は、日本と海外をつなぐ仕事に就くことでした。そこで、海外の政治や文化、社会を学び、日本語・英語+αの3言語を自分の武器として揃えようと考え、上智大学文学部に進学。在学中は英国に1年間留学し、EU国際政治経済学とドイツ史を専攻しました。そして、大学卒業後、海外勤務

キャリアを積み重ね、 海外での チャレンジも実現。

も視野に入れて株式会社東京三菱銀行(現・株式会社三菱UFJ銀行)に入行。法人部門の支店や本部でキャリアを磨き、現在、社会人生活24年目を迎えました。

これまでに担当した業務は多岐にわたります。中でも、お客様の資金調達手段の多様化ニーズにテーラーメイドでストラクチャ提案する業務には18年間携わりました。その間、プライベートでは結婚、出産、育児、夫の海外勤務、介護などを経験。その時々で何を優先するか、物理的にすべてを選択できない状況で深く悩み、夫や子どもたちと相談しながら、試行錯誤を重ねてきました。そうした日々を振り返ると、至る所に「淑徳魂」逆境に屈しないたくましさ、しなやかさが活かされていると感じます。

50代が迫る今は、入行動機でもあった海外勤務を周囲の方の協力で漸く実現できました。オークランド支店に勤務し、オセアニアに進出している日系企業の営業支援やニュージーランド地場企業



日系企業が保有する森林の視察現場にて。当地の主要産業である林業にも日系企業が深く携わっています。(写真右が杉さん)



「その後の桃太郎」という演劇にクラスで挑んだ、中3の芸能祭。私は桃太郎のお爺さん役でした。大切な思い出の一つです。

とのビジネス協働推進を担っています。グローバルな視野と人材マネジメントスキルを磨きながら、日本の未来のためアジア諸国の経済戦略を理解し、日系企業への支援を通じ社会へ貢献していきたいです。

何歳になっても、何かをするときに遅すぎることはありません。愛知淑徳の生徒・学生の皆さんも、好奇心を大切に一步一步を踏み出し、自分の目標に向かって自分のペースで進んでいきましょう。